

お知らせ

平成 30 年 9 月 4 日(火)午前 9 時から、青森県平川市の平川市ひらかドーム周辺において、「平成 30 年度青森県総合防災訓練」（主催：青森県、平川市）が開催され、当協会・青森支部（弘前部会）が参加しました。

同訓練では、訓練コンセプトを「支えあい、譲りあい、助け合う 相互の力で命を守る」とし、今年度の訓練では、「軽山地西緑断層帯を震源域とするマグニチュード 7.3 の地震が発生したこと」を想定して行われました。

今年度の訓練では、①地域の特性（平川市は、自主防災組織活動カバー率 95.3%）を踏まえ、被災者支援に関わる訓練に重点を置き、自治体・住民等・防災関係機関が一体となった総合的な避難所運営訓練を実施②市内全小・中学校でシェイクアウト及び避難訓練を実施③隣接の大鰐町、大鰐町消防団が参加する等の特徴がみられ、当日は、当協会・青森支部をはじめとする 90 の機関・団体並びに一般参加者を合わせた、約 3500 人が参加して訓練が行われました。

また、ひらかドーム内では、当協会・青森支部（弘前部会）が、参加者の防災意識を高めること目的とした「災害時支援資機材」を展示しました。出展ブースでは、仮設トイレやビックタンク発電機、エンジン投光器バルーン、油留蔵等が展示され、参加者の注目を集めました。

そして、正午頃に全ての訓練が終了し、参加者一同、充実した防災訓練を行うとともに、防災意識をさらに高めることとなりました。



真剣な面持ちの参加者たち



開会式の模様



総監の三村申吾・青森県知事



災害時支援資機材が注目を集めました